

# とちぎ夢大地応援団（11月8日実施）

夢大地グラウンドワークin文挾

## 日光市文挾地区「ため池及び周辺環境の整備活動」

日光市文挾地区には、水田の水を確保するためのため池があり、その周辺にヒツジグサやハンノキなど260種類の植物、ホトケドジョウなどの生き物が生息しており、豊かな自然環境、生態系が保持されています。

そこで、これらのため池と周辺の環境を守ろうと、11月8日、地元住民、夢大地応援団に加入しているナルク栃木、一般応援団員など、総勢52名が参加して、ため池の泥さらいや周辺の草刈り、水路の清掃、そして菜の花の種まきを行いました。当初は9時30分に活動を開始する予定でしたが、参加者の皆さんが8時30分には集合したことから、9時からさっそく作業を開始しました。

文挾地区の応援団の受け入れはまだ2年目ですが、地元の受け入れ態勢、準備はよく整っており、また、各地でボランティア活動を行っているNPO法人「ナルク栃木のメンバー」17名を始め、参加者全員が元気に作業を行いました。

ため池の泥さらいは、池の上流付近にたまった泥をスコップで掘り上げ、これをボートに乗せてロープで下流まで運ぶ重労働ですが、若者を中心に上流と下流のグループが息を合わせてロープを引き、次々に泥を移動しました。また、菜の花の種まきは、高齢者を中心に畝たてと種まきのグループに分かれ、それぞれに作業を行いました。



予定よりも30分早くスタート



ナルク夢大地応援団の幟

作業終了後、地元の女性の皆さんが用意してくれた新米のおにぎり、豚汁をいただきながら、全員で楽しく交流会を行いました。地元文挾地区の代表者からは、郷土の歴史の紹介や菜の花の摘み取り（翌春）の案内があり、一方、参加者からは素晴らしい環境のもとで作業が出来たこと、みんなで汗を流せたこと、そして農村の人たちと交流できたことに感謝の言葉があり、大変満足した様子でした。

なお、本年度から地元自治会長は田中さん、副会長は今野さんになりました。今年は昨年以上に、地元文挾地区の人たちの熱意、女性の皆さんのパワーを感じました。それにも増して、参加された応援団の方々（多くは60歳以上）の、若さあふれる仕事ぶりに敬服しました。



**水路周辺の雑草を刈る**



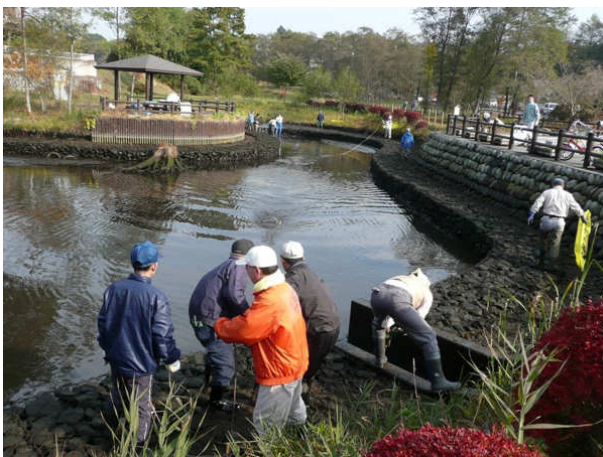
**水路のゴミを除去する**



**池の上流に堆積した泥**



**泥をさらい、ボートに載せる**



**泥を載せたボートをロープで引く**



**泥を落とし水路に流す**



**力を合わせて畝たて**



**若い者には負けないぞ**



**菜の花の種を播種**



**播種した後は、ほうきで覆土**



**作業の後は楽しい食事タイム**



**参加した若者の感想は**



女性の皆さん、おいしい昼食、すてきな笑顔ありがとうございました



全員集合、再会を楽しみにしています